

グローバル・ヴィレッジ 2017年度 活動報告

【概要】

2017年は、グローバル・ヴィレッジとして初めてクラウドファンディング(インターネット上で企画を公表して資金提供を呼びかける仕組み)により資金を調達し、インドの生産者を日本に招いて7カ所でセミナーを開催しました。

生産者支援活動としては、フェアトレード事業を担うピープルツリー(フェアトレードカンパニー株式会社)と連携して、商品の売上に応じて生産者が現地で実施するさまざまなプロジェクトに寄付を送りました。また、イギリスのピープルツリー・ファウンデーション(生産者支援を行うピープルツリーグループのNPO)を通じて、バングラデシュの生産者団体のための安全講習を支援しました。

【収入・支出状況】

2017年の収入は443万円で、前年に比べ14%増加しました。内訳は会費収入211万円、寄付収入210万円、講師派遣などによる啓発活動収入が23万円で、会費や啓発活動の収入は前年から減少したもののクラウドファンディングにより寄付収入が大幅に増えたため、全体として収入が増加しました。

支出の部では、9月にインドの生産者を日本に招くプログラムとセミナー等の啓発活動にそれぞれ114万円を費やしました。一方で事務所経費は家賃・光熱費の見直しにより圧縮し、支出合計は393万円と前年比で9%減少しました。これにより当年収支は51万円のプラスとなり、繰越金を▲50万円に減らすことができました。

2017会計報告		
(会計年度1月1日~12月31日)		(単位:円)
	2016	2017
収入の部	3,894,290	4,434,729
会費収入	2,375,000	2,105,000
寄付金収入	1,026,820	2,095,890
啓発活動収入	492,470	233,837
雑収入		2
支出の部	4,294,282	3,925,420
情報発信	775,932	601,687
啓発活動費	1,686,149	1,144,568
生産者来日プログラム	0	1,144,301
プロジェクト支援	598,100	228,560
技術・能力向上支援	0	0
活動費小計	3,060,181	3,119,115
人件費	365,449	344,234
家賃・水道光熱費	787,200	372,920
その他事務所経費	81,452	89,151
事務所経費小計	1,234,101	806,305
当期収支	-399,992	509,309
前期繰越	-612,180	-1,012,172
次期繰越	-1,012,172	-502,863

※ピープルツリー商品の売上からの寄付はフェアトレードカンパニー株式会社の支出となるため、上記の収入・支出に含まれません。

【活動報告】

1. 啓発活動

1) セミナー、ワークショップ

9月にインドからピープルツリーの生産者パートナー「クリエイティブ・ハンディクラフト」から2名の女性を日本に招き、東京・名古屋・大阪でセミナーを開催しました。東京ではピープルツリー・アンバサダーの末吉里花さん、鎌田安里紗さんもゲストに加え、「フェアトレード×オーガニックなライフスタイル」を発信しました。



9月7日、東京のトークイベントに出演した(左から)クリエイティブ・ハンディクラフトのサロジ・カンブルさん、ロージ・ソランキさん、鎌田安里紗さん、ピープルツリーのジェームズ・ミニー社長、末吉里花さん

2) 講師派遣

グローバル・ヴィレッジ代表の胤森が、フェアトレードについて講演や講義を行いました。

- ・オンライン動画学習サービス「Schoo」授業(5月)
- ・国際オーガニックEXPO(8月)
- ・インド・トレンドフェア(9月)
- ・JICA地球広場「SDGs映画祭」(10月)
- ・実践女子大学(12月)

2. 生産者支援活動

1) 生産者来日プログラム

前述のインドの生産者2名の招聘は、クラウドファンディング「Readyfor」で121名の協力者から122万円の資金提供を受けて実現しました。9日間の滞在中各地で参加者やフェアトレード推進団体のメンバーとの交流を通じ、日本のお客様の要望や意見を持ち帰ることで、今後の品質やデザインの向上に役立ててもらいます。

2) バングラデシュ生産者団体の安全講習

生産者団体がフェアトレードの10の指針を守って活動できるよう、ピープルツリーグループとしてさまざまな支援を行っています。指針のひとつである「安全で健康的な労働条件を守る」ため、バングラデシュのフェアトレード団体のネットワークである「ECOTA」の主催により、11月に5日間の職場の安全講習が行われました。この講

習の開催費用をピープルツリー・ファウンデーションが助成し、ピープルツリーの生産者パートナー8団体から21名が無料で講習に参加。緊急時の救命や火災時の避難、安全衛生について学びました。



11月10-12日に行われた救命訓練のようす。

2) 寄付プロジェクト

ピープルツリーと連携し、生産者パートナーが運営する教育や環境保全等のプロジェクトに商品の売上に応じた寄付を送りました。各プロジェクトの詳細は、ピープルツリーのホームページ内「寄付つきのお買い物」でご紹介しています。

<http://www.peopletree.co.jp/sharethelove/>

●クムベシュワール・テクニカル・スクール(KTS)(ネパール)

ピープルツリーにニット製品を届けてくれるKTSが運営する孤児院を支援するため、KTSのファッションアイテム1点につき100円を寄付。

《2017年送金額》 298,800円(セーター等 2,988点分)



孤児院では6歳~19歳の15人の子どもたちが暮らしている

●アーティザン・ハット(AH)(バングラデシュ)

ウエディング・ドレス1着につき10,000円を寄付。AHはこの寄付で、織りや縫製に携わる生産者が子どもの入学金や小規模ビジネスの立ち上げ等に必要とする資金を無利子で貸し出すための基金を設立。これまでに33名が融資を利用しました。

《2017年送金額》 460,000円(ドレス46着分)

●タナバラ・スワローズ(バングラデシュ)

ウエディング・ドレス1着につき10,000円を寄付し、スワローズで働く女性たちのための保育所運営を支援。

《2017年送金額》 150,000円(ドレス15着分)

●タラ・プロジェクト(インド)

児童労働に従事する子どもたちに教育の機会をつくるため、タラ・プロジェクトでは5か所の教育センターを運営しています。このセンター運営を支援するため、タラ・プロジェクトで作られたアクセサリーの売上100点ごとに30USドルを寄付しました。

《2017年送金額》 約285,000円



センターで学ぶ子どもたちに文房具の配布

●エル・セイボ(ボリビア)

チョコレートの包み紙についている「カカオポイント」をお客さまに集めて送っていただき、10ポイントにつき1本のカカオの苗木を、病害虫に悩むエル・セイボのカカオ農家に贈るキャンペーン。

2014年から2016年末までに95軒の農家に29,200本の苗木が配布され、2017年からは、試験農場で病害への耐性を持つ品種を生み出す新たな3カ年のプロジェクトが始まりました。

《2017年送金額》 約155,000円



苗木を受け取り笑顔のベルナベ・ラモスさん(2016年)

このほか、バングラデシュの労働者を支援する寄付も継続しました。

●衣料品産業労働者組合連合(NGWF)(バングラデシュ) :バングラデシュの衣料品産業で働く労働者の労働環境改善に取り組む組織。事務局の運営費を支援。

《2017年送金額》 約226,000円

【2018年活動計画】

引き続き、啓発活動と生産者支援を通じてフェアトレードの推進に力を注ぎます。情報発信を強化するため、活動内容をブログなどでタイムリーに発信してまいります。